

学研 おんがく通信

Web版も
あるよ★
♪バックナンバーが
閲覧できる!
♪ウェブならではの
情報が満載!

6月号

2012
年5月
25日

Gakken

(株)学研パブリッシング 音楽出版事業室
〒141-8412 東京都品川区西五反田2-11-8
Tel. 03-6431-1220

学研 おんがく.net <http://gakken-publishing.jp/ongaku/> 学研 電子ストア <http://ebook.gakken.jp/gstore/>

先日クリーニング屋の福引きで、あさがおの種をもらいました(どうやら参加賞)。せっかくなのでGWの晴れた日に植えてみました。すると早速「土の中は窮屈だよ!早くひなたぼっこしたいよ!」と言わんばかりに芽が出て、背伸びをしています。あさがおの成長が嬉しく、朝起きることが苦でなくなりました。花が咲く夏が待ち遠しいです。ちなみに、あさがおの花言葉には「明日もさわやかに」という意味があるそうです。(の)

楽器の日〜ピアノ〜

The Birth of the PIANO

6月6日は楽器の日。1970年(昭和45年)に全国楽器協会が制定しました。古くから伝えられてきた「芸事の稽古はじめは、6歳の6月6日にする」という習わしに由来しています。…というわけで、この楽器の日にちなんで、ピアノの歴史について調べてみました。そのルーツは15世紀にまでさかのぼります。

●チェンバロの誕生

現在のピアノのように、弦を叩くのではなく、ひっかいて音を出す「チェンバロ」が誕生したのは1650年頃でした。音の強弱はつけられませんが、使用する弦の数や組み合わせによって、音色を変化させることができます。J.S.バッハやクーペランが活躍した時代の楽器です。フランス語では「クラヴサン」、英語では「ハープシコード」と呼ばれます。

●クラヴィコード

18世紀頃に誕生した「クラヴィコード」は、弦を打つ位置によって音の高さが変わります。音量はとても小さいですが、強弱や表情がつけられ、ヴィブラートも可能です。J.S.バッハの家族やヘンデルをはじめ、18世紀の音楽家の誰もが愛した鍵盤楽器です。

●フォルテピアノ

フィレンツェの楽器製作者バルトロメオ・クリストフォリが、1700年以前に「フォルテピアノ」を開発しました。鍵盤の数は5オクターブ程度ですが、現在のピアノのように、弦をハンマーで叩いて音を出します。しかしハンマーが小さいのでタッチが軽く、まるやかな音色がします。古典派音楽の初期時代に、ベートーヴェンらの活躍とともに飛躍的に発展し、皆さんご存じのピアノの名曲の数々が生まれました。

●モダンピアノ(現在のピアノ)

「フォルテピアノ」が時代を経てたどりついた楽器が、「モダンピアノ」です。鍵盤の数は88鍵が標準になり、弦は鋼線で、非常に強くなった張力を支えるフレームは木製から金属に、弦を叩くハンマーも大きくなりました。強弱の幅はとも広くなり、タッチによってさまざまな表現が可能です。また各ピアノ製作者の研究により、数々の名器が誕生しています。

クラヴィコードから、現在のモダンピアノまで4種類の鍵盤楽器をご紹介しましたが、この他にも「ピアノ」が誕生するまでに、さまざまな鍵盤楽器が開発されました。そして現在もピアノの製作者の研究により、日々改良が重ねられています。

ちなみに、日本に西洋の音楽が入ってきたのは、江戸時代後期(ベートーヴェン晩年の頃)のことで、鎖国のなか、唯一開港していた長崎から伝わりました。そして、1823年にピアノが入ってきたところから日本のピアノの歴史がはじまりました。

(参考文献)「ピアノの歴史」(河出書房新書)「ピアノの名器と名曲」(ナツメ社)ほか



【キーワード】ピアノの歴史を調べるにあたり、ヒントになるキーワードを並べてみました。この他にもたくさんあります!

《鍵盤楽器》 クラヴィコード/チェンバロ/ヴァーヴナル/スピネット/タンゲンテンフリューゲル/フォルテピアノ/モダンピアノ…
《ピアノ製作》 クリストフォリ/ヨルバーマン/シュトライヒャー族/クラフ/フロドウッド/クレメンティ/ベシシュタイン…
《音楽家》 J.S.バッハ/J.S.バッハの家族/クーペラン/ヘンデル/モーツァルト/ベートーヴェン/シューベルト/メンデルスゾーン/シューマン夫妻/ブラームス/ハイdn/ショパン/リスト/ドビュッシー/ラヴェル… などなど…

「ちいさなおんがくがいが」がアプリになりました!!

“どれみふあむら”を探検して
いろいろな音楽を
楽しみましょう!

遂にピアノ・アプリが完成しました!完成版のアプリお披露目会では、あかね先生も、轟先生も、尾田さんも大興奮!皆さんとても楽しんでいらっしゃいました。アニメーション画面には、エンジニアさん(なんと男性!!)の遊び心がたくさん詰まっています!少しだけ紹介しますと…《ふんわりたんぼぼ》は、曲名の通りふんわりとたんぼぼが舞うのですが、毎回舞い方が変わります!《おつきさまのみた》では、同時にたくさん星を流すことができます!いくつ流れ星ができるでしょうか?指を立ててトンと画面をタップしてみてくださいね。演奏画面では、本物と同じ数のピアノ鍵盤が登場し、伴奏(演奏は轟先生!!)に合わせて曲を弾くことができます。カウントに合わせて練習した後は、耳を澄まし、よく伴奏を聴いて合わせてみましょう。まるで轟先生と呼吸を合わせながら弾いているようで、すて〜気持ちがいいんです!是非、「どれみふあむら」で遊んでみてくださいね!



2曲無料で遊べるよ!

iPhone・iPad向けアプリ
ピアノひけたね!
どれみふあむらのたんけんたい
丸子あかね 監修/轟千尋 作曲/尾田瑞季 絵
AppStoreにて配信
無料2曲入り、追加パック250円(3曲入り) ※全3パック

AppStoreで「どれみふあむら」と検索してください!

画面にピアノが登場!?
本物の音に聴れる!
楽譜は覗き見!

ピアノのどリーむ情報



2013年、いよいよ発行20周年を迎える「ピアノのどリーむ」シリーズ。先月号で、発行の1993年は編者・田丸信明先生のピアノ教育活動30周年、とお伝えしました。では、この年はいったいどんな年だったのでしょうか?世界的には→チェコとスロバキアが分離、ビル・クリントンが第42代アメリカ合衆国大統領に就任…、日本では→皇太子御成婚、Jリーグ開幕、初の世界遺産登録…、などの出来事がありました。先ごろ引退した新幹線「のぞみ」300系が運行を開始した年でもあるそうです。(←この情報は鉄道にもお詳しい田丸先生に教えていただきました。) (か)

6月8日は「ピルト・シューマンのお誕生日!!」 (1810~1856)

ロベルト・シューマンは1810年に生まれ、1856年に46年の短い生涯を閉じました。生年はショパンと同じなので、一昨年の生誕200年になる記念の年も、ショパン人気の影で、あまり陽のあたることがなかったように思います。

シューマンの一生は不遇だったとまではいえませんが、いつもなにかと苦苦労のたえない、割を食っている人生のような印象があります。その作品もどうもストレートに評価されない気味があるようで、もっとも代表的なピアノ独奏曲においてさえ、展開に乏しく構成力が弱いとか繰返しが多すぎるとか否定的な評価を目にすることがあります。管弦楽曲、特に4曲ある交響曲については、オーケストレーション（管弦楽法）の下手な作曲家と烙印を押されてきました。ほとんど演奏されることのなかった劇音楽や宗教音楽の作品とともに、シューマンの管弦楽法が評価しなおされるようになってきたのは、ごく最近になってからです。また、シューマンが精神病を患っていたことはよく知られていますが、その影響を作品に結びつけた記述もよくみられます。

それらの否定的ともいえる評価は、どれも大なり小なり理由があることなのでしょうが、一方ではシューマンの作品の魅力の一端にもつながっていて、熱烈なシューマンの愛好家（シューマニア）を生み出してきた源泉ともなっているようです。

そもそも、ある曲を特別に好きになったり、ある作曲家を偏愛したりするのはということなのでしょう。私たちは、容姿も性格も育ちも、どこにも欠点がなく完璧であるという理由で、恋愛をするわけではありません。好きで好きでたまらないという感情を理路整然と説明することはできないのです。

その説明ができない何かこそ、シューマンの音楽を織り成すものであり、そういう音楽だからこそ、隠れキリシタンのようにシューマニアがこの世にひそかに、しかし確実に存在し続けるように思うのです。(え)



♪ミハイル・グリンカ
(ロシア/作曲家/1804.6.1生)

♪エドワード・エルガー
(イギリス/作曲家/1857.6.2生)

♪ピーター・ピアース
(イギリス/テノール歌手/1910.6.22生)

♪ジェイムズ・レヴァイン
(アメリカ/指揮者、ピアニスト/1943.6.23生)

今月のあかね先生



今月からスタートするセミナー『1音からはじめる楽しいピアノ・レッスン』では、「ちいさなおんがくかい」の収録楽曲を、1曲ずつ演奏しながら解説していただきます。子どもが使う音は1音だけでも、呼吸・音色・終止形…など、先生の伴奏で教えられることはたくさん!あかね先生も楽しみにされている新セミナーです!乞うご期待!!(いも)

今月のセミナースケジュール

- 5/29 (火): [茨城県/つくば]
ヤマハミュージックアカベニューつくば
『1音からはじめる楽しいピアノ・レッスン』
- 6/7 (木): [東京都/経堂]
ヤマハミュージックスタジアム 経堂店
『1音からはじめる楽しいピアノ・レッスン』
- 6/15 (金): [茨城県/水戸]ヤマハ水戸店
『1音からはじめる楽しいピアノ・レッスン』



〇うださんが作った新しい楽器

ウダー

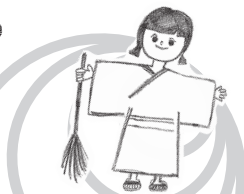
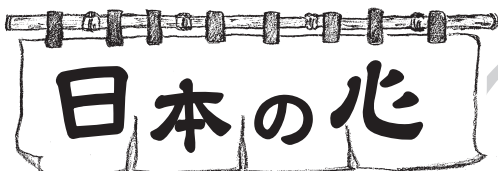
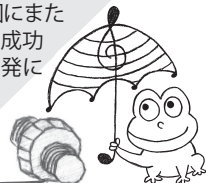
～番外編～



今回は開発情報はお休ませて、宇田道信さんの最新情報。去る4月28・29日の2日間、幕張メッセにて「ニコニコ超会議2012」なるイベントが開催されました。ニコニコ超会議は「ニコニコ動画」のあらゆるジャンルのモノ・人が集結する一大イベントです。そんな中、宇田さんの出演は「ニコニコ学会(β)」というプログラムの「研究してみたマッドネスメカの部」。「学会」という通り、研究発表形式をとられたこのプログラムでは、数々の独自研究成果が発表されました。

宇田さんも、ウダーという楽器の成り立ちから特徴、将来の夢まで見事なプレゼンと演奏を行いました。もちろん、ニコニコ生放送でオンライン視聴もできましたが、画面上にはパチパチという拍手を表す「8」の文字が並びました。そして、見事に部門での大賞を獲得しました。こうして、またひとつ新たな勲章を手に入れた宇田さん。全国にまたウダー・ファンを増やすことに成功しました。そして、引き続き開発に情熱を注ぎます。(つづく)

※ニコニコ学会の詳細はこちらをご覧ください。
<http://www.chokaigi.jp/tenji/conference/gakkai.html>



今月は「雨」にまつわる童謡「てるてる坊主」(作詞:浅原鏡村/作曲:中山晋平)についてお話ししましょう。

遠足や運動会の前日、雨空を見上げながら、てるてる坊主を吊るした経験はどなたでもあることでしょう。さて、このてるてる坊主、発祥が中国ということをご存知でしたか?

「掃晴娘(サオチンニャン)」という、箒を持った女の子の人形を作り、「雨雲を箒で掃いてお天気にして!…」と願いを込めて吊るす、という風習が日本に伝わり、江戸時代に今のような形で定着しました。日本国内でも地方によってその風習はさまざまのようで、例えば、晴れを祈るときには白い布、雨乞いをするときには黒い布で、てるてる坊主を作る地方、ノッペラボウのてるてる坊主を作り、晴れたら顔を書く天気祭りを行う地方などがあるそうです。ちょっと変わった風習や謂れなど、「てるてる坊主」にまつわる面白いお話がありましたら編集室までメールをお寄せください!

ところでこの歌、3番まで歌ったことがある方って少ないと思いますが、けっこう残酷なのです。1番と2番は、「晴れたら鈴やお酒をあげるからお願い…晴れにして!」という内容なのですが、3番は一転、「晴れなかつたら首をちよん切るぞ!」。

おぉッ、コワッ!!!

*参照「わたしの心の歌-夏」(学研パブリッシング刊)

つむりの

練習手帳



つむりの先生は、毎日の練習のしかたを「ハノン=かたて5回ずつ、りょうて3回」みたいに「れっすんのーと」に全部書いてくれるので、つむりははりきって一人で練習しています。でも、ちゃんとひけてなくても回数が終わったら練習をやめてしまうので、心配だったから「てきとーじゃん」って言ったら、ふてくされて「お兄ちゃんがいじわる言うー」ってママに言いつけて、逆にしかられてました。

(くいしんほかつトホホなお兄)

つむり現在の楽譜

- ◎バステイン:ピアノバイシックス1
- ◎ピアノフレンド2
- ◎こどものハノン④



系属集部のつむりやいっただー!

土・日(できれば日中)に半身浴をしながら、防水ケースに入れたiPadで映画を観ること。新しい私の習慣。し・あ・わ・せ〜。(@く)

Tsubuyaitter..... follow me!

twitter やってます! @gakken_music 日々のよしなしごとや最新情報をツイートしています!